

講習の名称：ものづくりを支える溶接技術  
担当講師：楠元 一臣（教育学部教授）  
講習開講日：2019年8月24日（土）  
時間数：6時間

主な受講対象者：高等学校工業科教諭

キーワード：ものづくり、溶接、切断

講習の概要：

今日のものづくりを支えている溶接技術の歴史や進化について概観し、その後、代表的な溶接・切断法の原理、加工部の品質と評価方法について説明します。最後に、金属加工実習室を見学し、工作機器の安全な取り扱いについて学びます。

講習の展開：

- 第1時限 溶接技術の歴史と進化
- 第2時限 溶接・切断法の種類と原理
- 第3時限 溶接・切断部の品質と評価方法
- 第4時限 金属加工実習室の見学

受講に当たっての要件（講習内容のレベル）：

本講義は溶接・切断技術の専門的な予備知識がなくても理解できる内容ですので、ものづくりに興味のある方は参加してください。

授業の形式：

講義および見学

履修認定試験：

論述形式の筆記試験を課します（ノート・配布資料の持込可）。

テキスト・参考文献：

◎テキスト：講義プリントを使用します。

◎参考文献

- ・手塚敬三「溶接のおはなし」日本規格協会 2005
- ・日本溶接協会検定委員会編「アーク溶接入門」産報出版 1994
- ・中央労働災害防止協会「アーク溶接等作業の安全」1995